

西戸山地区中学校統合協議会だより

▶▶▶ 去る 11 月 17 日、西戸山第二中学校で第 8 回の統合協議会が開催されました。まず、第 6 回での協議を踏まえて、地区計画に関わる西戸山中南・東側道路整備について区環境土木部から説明がありました。次に、第七次・学校適正配置計画(案)について確認し、統合時期については意見も出ましたが、最終的に統合協議会として案を了承するという結論になりました。これは西戸山中学校と西戸山第二中学校を平成 23 年 4 月に統合し新校を開校するために、平成 20 年 4 月に旧戸山中学校(現西早稲田中学校仮校舎)を仮校舎として西戸山中学校を移転し、西戸山中学校跡地に統合新校の校舎を建設するものです。西戸山第二中学校については統合まで現在の校舎で運営する予定です。この計画案に基づいて西戸山地区中学校適正配置に関する地域説明会を 12 月 4 日 16:00 から西戸山第二中で、12 月 6 日 19:00 から西戸山中で行い、12 月 12 日の定例教育委員会で正式に計画決定する予定です。次に、区道廃止に向けた区への要請について確認しましたが、調整の上再度提示することになりました。

次に、新校の校名について、前回の協議により各自持ち帰った校名案を持ち寄り、協議しました。協議の結果、「西戸山」「新西戸山」「新宿西戸山」「西戸山中央」の 4 つに絞られましたが、今回の意見を踏まえて再度持ち帰り、次回引き続いて決定に向けて協議することになりました。次回の統合協議会は 12 月 8 日に西戸山中学校で開催予定です。

百人町 3・4 丁目地区計画に関わる道路整備について

百人町 3・4 丁目地区計画により、改築等に伴って西戸山中学校南・東側道路を 12m の幅員にするため、道路に接する学校の敷地を 2m 後退しなくてはならないことについて、第 6 回までの協議では、地区計画の変更が難しいこと、道路を挟んで反対側にある公園面積を減らせない理由等が説明されてきました。その中で学校の敷地を公園等と代替して長方形に整形してはどうか、等の意見がありました。それを受けて区環境土木部から、道路整備のイメージ図の提示や検討結果の説明がありました。まず、この道路は地区計画上の道路であり、これを変更する場合は地区計画を変更しなければならないため、かなり煩雑な手続きが必要であり、相当の時間を要すること、次に、敷地を長方形に整形すると道路の延長が長くなり、学校と道路・公園と同等の面積で代替すると道路が延長される分公園または校地が狭くなること、次に、現在の中学校横の広場の形がいびつになり、ゲートボールコート等がとれなくなることなどから実現は難しいということでした。

主 な 意 見

- ▶▶▶ 防災のためだと思うので 12m 道路はよいが、線路脇まで道路をまっすぐにしてほしい。ゲートボールする方の土地も必要だが、子供の教育の場はきちんと作っていかねばいけないと思う。
- (回答) 中学校の隣の公園は都市計画公園であり、変更には都市計画の変更を伴う。整合性を全体的に判断するため相当の時間がかかる。また、区内にゲートボールができる場所はあまりなく、子どもたちと同様に、それを楽しみにしている方のことも考えなければいけない。
- ・計画の変更には何年かかるのか。(回答) 1 年はかかる。それに加えて事前調査等でさらに時間がかかる。実際の地区計画策定時には 3 年のスパンで検討している。
- ・平成 15 年にこの地区計画について道路の位置を変える変更を行ったが、そこまで時間はかからなかった。この場合中学校の敷地が狭くなることや、道路がまっすぐでないことが問題なので、これから議論を経て変更可能ではないか。
- ・新校が出来上がってサクラがなくなるのは教育上かなりの痛手である。学校側だけでなく公園側へも 1m でも後退して折半して欲しい。(回答) サクラなど、なるべく木は切らないで移植するなり生かすようにしていく。
- ・これからは学校と老人ホームが一緒になっていく時代。学校の中にゲートボール場があってもよいのではないか。
- ・公園は危険性もあり、子どもたちは遊ばない。学校が将来いろいろな人が集う場になると思う。現状にそぐわない計画に固執するのではなく、現在何が必要なのかきちんと考え直してほしい。公園が 1m 後退しても影響はないと思うし、それを地域の人たちが文句を言うとは思わない。
- ・西戸山第二中の跡地に公園を作るのはどうか。あるいは、将来的に老人福祉の施設になってその庭にゲートボール場ができる可能性もあるのでは。(回答) 跡地利用については区全体のなかで検討する。

第七次・学校適正配置計画(案)について

- 1 (統 合) 西戸山中学校と西戸山第二中学校を対象として、2校を1校に統合する。
- 2 (実施時期) 統合の実施時期は、平成23年4月1日とする。
- 3 (統合新校の校地) 統合の新校舎は、西戸山中学校の跡地に建設する。また、新校舎の建設期間の西戸山中学校の仮校舎として、平成20年4月1日から、旧戸山中学校(現西早稲田中学校)を使用する。
- 4 (校 名) 新校の名称は、西戸山地区中学校統合協議会の検討結果を踏まえ、決定するものとする。
- 5 (通学区域) 西戸山中学校と西戸山第二中学校の通学区域を併せて一通学区域とする。

新校の校名について

主 な 意 見

- ・西戸山中は落ち着いた校風であるし、新宿区の1つのブランドとして西戸山地区の「西戸山」中と付けたい。万が一妥協して他の名前を納得しないまま付けてしまったら後悔するのではないかと思う。5年後10年後になぜこの名前にしてしまったのかと言われる名前にはできない。
 - ・西戸山中学校を希望される方の気持ちはよくわかるが、これから始まる学校であることや子どもたちの気持ちなどを考えた時、「西戸山」中ではどうしても吸収合併されたというイメージはぬぐえない。
 - ・もとは西戸山中と西戸山第二中はひとつであったこと、どこも学校の名前が残らないのもおかしいのではということで、「西戸山」中がよい。
 - ・PTAの運営委員会で話し合ったが、どれか1つでは「西戸山」しか出ないだろうということで、どれか2つとして、「西戸山」と「新宿西戸山」とが挙がった。
 - ・西戸山小と校庭を一体化する案が仮にあるとしたら、西戸山小と校庭を同じくする中学校は「西戸山」でなければおかしいのではと思う。
 - ・この地域の地名でもあり、「西戸山」がよい。西戸山中が飽和してできた西戸山第二中が戻るというのは吸収ではなく自然の流れだと思う。
 - ・地名として広く通用している「高田馬場」中がよい。
 - ・誤解せずお互いよいところをわかりあうために、もっと時間をかけて機会を作ってお互い話しあっていくのがよい。
 - ・地名などを考えると良い組み合わせの新しい名前が出てこないように思う。子どもたちは校名がどうであっても精一杯やると思うし、感情には個人差があると思う。意見の集約の共通したところで決まるのではないか。
 - ・皆さん対等と言いつつ元に戻る吸収というイメージがある。なぜ最初から吸収だと言わないのか。それには理由がある。そこをよく考えて欲しい。
 - ・西戸山という名前を残したいと思い、「新西戸山」がよいと考えるが、「西戸山」を希望する人はどうして新西戸山中では反対なのか。
 - ・「新西戸山」の「新」というのが5年10年たつとおかしいと思う。
 - ・小中連携について、連携とは何か。あえてそれを一緒に考えることで話がずれてくるのではないか。
 - ・学校が新しく出発するのだから、外見的にも新しくなったほうが子どもたちにとっては新しい気持ちで出発できる。西戸山第二中は人数が少ないのでいろいろな気持ちがある。それをもう少し考えて、統合した時共に新しく出発できる環境をつくるためには、新しい名前がよい。校名は「高田馬場」がよいが、妥協点として西戸山という名前を入れて、「新西戸山」や、「新宿西戸山」がよい。「西戸山」に何か一言でもいいからつけてほしい。名前が変われば新しいスタートという気持ちになれると思う。
 - ・今いる在校生は統合の時はいない。新しい学校だから新しい名前がつくのではないと思う。母体が大きいからかもしれないが、全体の雰囲気を見ると「西戸山」なのではないか。
 - ・学校名によって学校選択制で選ぶ学校が大きく変わってくるのではと考えると、「西戸山」という名前をまったく残さないものが良いと思う。
 - ・中学校を選択する子どもたちのことを考えると、今校名を決めずにもう少し先に決めてもらったほうがよい。
 - ・いずれにしる合意しなければいけないので、決める方法を決めないといけないのではないか。
 - ・前回名前が挙がった中には入っていないが西戸山中央という名前を加えてもらいたい。
- | | | | | |
|------------|-------|------|-----|-------|
| 校名候補(50音順) | 新宿西戸山 | 新西戸山 | 西戸山 | 西戸山中央 |
|------------|-------|------|-----|-------|
- ・今回の協議を踏まえて、再度持ち帰って検討していただき上記4つのなかから2つに絞り次回持ち寄って引き続き協議して決定する。